

高齢者福祉タクシーの 制限見直しを

真野 和久議員

介護予防外出支援等の観点から検討する
保険福祉部長



▲高齢者福祉タクシー料金助成利用券

問 3月議会において、

高齢者福祉タクシーの制限見直しの一般質問で、利用範囲の拡大を今後検討する答弁があった。具体的にどのように行うのか。

また、80歳未満の高齢者は、高齢者でない同居の家族がいると対象にならない。この年齢制限を引下げできないか。

答 ①介護予防の外出支援、②福祉サービスのひとつを基本に、検討している。

年齢の引下げについて

は、単に引き下げれば良いということとは考えにくく、必要な方に必要な支援ということを基本としたい。

問 利用目的だけではなく、高齢者の独り暮らし

や高齢者世帯のみという要件も見直しを検討しているということか。

答 そのとおりだ。

統廃合より小規模校支援の充実が先

問 小中学校適正規模

等基本方針の改定では、中学校を優先する提案がある。小学校の統廃合は中学校の後になるなら、小規模校へ支援をどのように行っていくのか。

答 小規模校に限った特別な支援は考えていない。課題が確認されれば、その解消に向け対策する。

問 基本方針にも、小規模校の様々な課題が書かれているが、現在、本市の

学校で確認された課題はあるか。

答 学校からは直接は聞いている。

問 具体的に状況をつか

み、それが統合しなければ解決できないのか、統合しなくても改善をすればよくなっていくのかをしっかりと見極める必要がある。

前回、児童・生徒の確保のため、小規模特認校

制度の活用を提案したが、今、創意工夫をおこなっている学校をしっかりと守ることが必要だ。その点で支援についてどう考えているのか。

答 あくまで傾向だが、人間関係が固定してしまっている。ある程度の人数は必要ではないか。

その他の質問

●市独自に給付型奨学金を